



防災について学び、自助・共助ができる心を育てる

ネイパル森

Let's 防災～防災キャンプ～

1 事業のねらい

災害や防災について学ぶ活動や体験活動を通して、日頃からの備えや災害時の対応を知り、自ら進んで人のために働こうとする心を育てる。

2 事業の概要

- 期日 R5.10.14(土)～15(日) 1泊2日
- 対象 小学生5年生～中学生3年生
- 人数 12名 ボランティア4名
- 場所 ネイパル森
- 協力 函館地方気象台、森町役場防災交通課

3 プログラム

	13:00	14:00	15:00	16:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
10/14 (土)	受付	開会式	活動① 災害について知ろう1 「大雨災害について」	活動② 災害について知ろう2 「地震津波のお話」	活動③ やってみよう1 「防災運動会」	夕食	活動④ 調べよう 「ハザードマップ」	入浴	自時間 就寝
	7:00	8:00	9:00	11:00	12:00				
10/15 (日)	起床	朝食	活動⑤ やってみよう2 「Doはぐ」	ふかえり	閉会式	解散			

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 参加者の住む地域ごとに用意したハザードマップ
 - ・災害や防災について自分事として捉えられるように、参加者の住む地域に合ったハザードマップを一人一人に用意した。
- 参加者の集中力を高めるプログラム構成
 - ・座学が多くなりがちな防災をテーマとした内容のため、運動会の手法やゲーム形式にするなどし、楽しく学べる工夫を行った。
 - ・座学で学んだことを体験的な活動で活かしてみようという流れのプログラム構成にし、より理解が深まるようにした。
 - ・中学生がリーダー的立場で小学生をけん引しながら話し合いが進められるよう、小学生と中学生を同グループに編成した。



自分の家の災害について調べる活動



防災運動会で楽しく学ぶ

5 事業の評価



- 参加者アンケートから、事前・事後アンケートの比較では、共助に関する項目において、「すごく思う」「思う」の肯定的な回答が50%から83%への伸びとなった。
- 参加者の声
災害に備えた準備や災害時の対応について学んだことを家族に伝えたい。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケート結果では、災害・防災に関する知識・技術、自助・共助に関する全ての項目で事前に比べ事後の方が良い結果となった。体験的な活動を効果的に配置したことによる成果と思われる。
- 参加者の関心・意欲によっては、座学より体験的な活動の時間を多くするなど時間的バランスをさらに工夫することや、Doはぐのカードをあらかじめ選定するなど、活動の完成度をさらに高める必要がある。

企画のポイント

ハザードマップを用意したり、運動会形式にしたりするなどし、楽しく体験的に活動できる工夫を行った。